

中学地理プリント (過去問類似)

ヨーロッパ

名前

得点

/8

問1 EUが域内における「移動の自由」を保障している主な目的と、その具体的な状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)

1. 域内全体の経済を活性化させるため、国境をこえて人々が就労し、企業が投資を自由に行えるようにしている
2. 各国の伝統文化を守るため、他の加盟国から人や資本が流入することを法律で制限している
3. 域内の物価を安定させるため、加盟国間での農産物や工業製品の輸出入に高い関税をかけている
4. 国家間の格差を是正するため、豊かな国から貧しい国への資本の移動を政府が厳格に管理している

問2 EUにおける経済状況について、一人あたりの国民総所得が4万ドル以上の国が古くからの加盟国に集中する一方で、2004年に以降に加盟した国々には2万ドル以下の国が目立ち、大きな開きが見られます。このような加盟国間の状況が原因となって引き起こされた、人口の移動に関する記述として適切なものを選択してください。 (2024年 三重公立入試 類似)

1. 賃金の高い西欧諸国を目指して、東欧などの新加盟国から労働者が移動した
2. 農業の効率化を求めて、西欧諸国から東欧諸国へ農家が大量に移住した
3. 経済混乱を避けるため、EU内の国境をまたぐ移動が厳しく制限された
4. 北欧諸国の高所得者が、生活費を抑えるために東欧諸国へ一斉に移住した

問3 ユーラシア大陸の北西部からロシア連邦を含む地域において、近年見られる経済的な動きとして最も適切な説明を選んでください。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 共通通貨であるユーロの導入などによる市場統合を通じて、域内の経済的な結びつきを強めている。
2. 北米自由貿易協定 (NAFTA) を締結することで、アメリカやメキシコとの間の関税を撤廃している。
3. 熱帯林が広がるアマゾン川流域の開発を制限し、環境保護と経済発展の両立を目指している。
4. 降水量が極端に少ない乾燥地域において、地下水路を建設することで大規模な都市開発を進めている。

問4 ヨーロッパ諸国のエネルギー政策に関する記述として、原子力発電を一切利用せず、火力発電のほかにも水力発電や再生可能エネルギーを組み合わせることで電力を確保している国として正しいものを次の中から選びなさい。 (2018年 愛知公立入試 類似)

1. イタリア
2. フランス
3. イギリス
4. ドイツ

問5 バルト海沿岸にあるEU加盟国の中には、フィンランドやエストニアのように共通通貨を導入している国もあれば、スウェーデンやポーランドのように独自の通貨を維持している国もあります。次の国々のうち、すべてが共通通貨「ユーロ」を導入している組み合わせを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)

1. フィンランド・エストニア・ラトビア
2. スウェーデン・デンマーク・ポーランド
3. フィンランド・スウェーデン・デンマーク
4. エストニア・ラトビア・ポーランド

問6 ノルウェーの沿岸部において、海岸線が非常に複雑に入り組んでいる様子が見られます。この、氷河による浸食を受けてできた深く鋭い谷に海水が入り込んで形成された地形の名称を選びなさい。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

1. フィヨルド
2. リアス海岸
3. デルタ (三角州)
4. カルスト地形

問7 イギリスなどのヨーロッパ高緯度地域が、北アメリカ大陸の同緯度地域に比べて冬でも比較的温暖な気候となる仕組みについて、海流と風の影響を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 低緯度から流れてくる北大西洋海流という暖流の上を、偏西風が吹いて暖かい空気を運んでいる。
2. 高緯度から流れてくる北大西洋海流という寒流の上を、季節風が吹いて暖かい空気を運んでいる。
3. 低緯度から流れてくる日本海流という暖流の上を、偏西風が吹いて暖かい空気を運んでいる。
4. 低緯度から流れてくる北大西洋海流という暖流の上を、貿易風が吹いて暖かい空気を運んでいる。

問8 ヨーロッパ西岸の気候に大きな影響を与える「北大西洋海流」と「偏西風」に関する説明として、ロンドンの冬季の状況を踏まえて述べたものとして適切なものを選びなさい。 (2020年 三重公立入試 類似)

1. 低緯度からの暖流である北大西洋海流の影響を偏西風が内陸へ運ぶため、冬の気温は札幌やニューヨークより高くなる。
2. 高緯度からの寒流である北大西洋海流の影響を季節風が和らげるため、冬の気温は氷点下になりにくい。
3. 北大西洋海流は寒流であるが、偏西風が熱帯の空気を運んでくるため、ロンドンの冬は温暖に保たれる。
4. 日本近海を流れる黒潮 (日本海流) と同じ暖流が偏西風によって運ばれ、ニューヨークよりも冬の気温を高くしている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 域内全体の経済を活性化させるため、国境をこえて人々が就労し、企業が投資を自由に行えるようにしている	EUは、国境という壁を取り払うことで、ヨーロッパ全体を一つの巨大な経済圏にすることを目指しています。人、物、資本、サービスが自由に移動できるようになることで、労働力の確保や企業の事業展開が容易になり、加盟国全体の競争力が向上します。関税の引き上げや移動の制限は、この統合の理念とは相反するものです。
問2	答え 1 賃金の高い西欧諸国を目指して、東欧などの新加盟国から労働者が移動した	EU域内では、加盟国の国民であれば自由に移動し働くことが認められています。そのため、一人あたりの国民総所得が低く経済的に厳しい状況にある東欧の新加盟国から、より高い賃金を求めてイギリス（離脱前）、ドイツ、フランスといった所得水準の高い西欧の古くからの加盟国へ多くの労働者が流入することとなりました。これは受け入れ側での雇用問題や、送り出し側での労働力不足といった新たな問題も生んでいます。
問3	答え 1 共通通貨であるユーロの導入などによる市場統合を通じて、域内の経済的な結びつきを強めている。	ヨーロッパ州では、国境を越えた人・物・資本の移動を自由にするため、ヨーロッパ連合（EU）を中心に市場の統合が進められてきました。共通通貨であるユーロの導入は、域内の経済交流を円滑にし、一つの大きな経済圏として国際的な競争力を高めるための重要な施策です。他の選択肢は、北アメリカ、南アメリカ、あるいは乾燥帯の地域に関する記述であり、この地域の特色とは異なります。
問4	答え 1 イタリア	イタリアは、1980年代の国民投票の結果などを受けて、原子力発電所を稼働させない方針を継続しています。電力不足を補うために、国内での火力・水力・再生可能エネルギーによる発電に加え、フランスなど近隣諸国から電力を輸入することで需要に対応しています。
問5	答え 1 フィンランド・エストニア・ラトビア	バルト海沿岸の国々のうち、フィンランド、エストニア、ラトビア、リトアニアはユーロを導入しています。一方で、同じEU加盟国であってもスウェーデン、デンマーク、ポーランドなどは独自の通貨を使用し続けています。EUに加盟していることと、共通通貨を導入していることは必ずしも一致しない点に注意が必要です。
問6	答え 1 フィヨルド	北ヨーロッパのスカンディナヴィア半島などで見られる、氷河によって削り取られたU字状の深い谷が海水に沈んできた地形をフィヨルドと呼びます。これに対し、リアス海岸は山地が海に沈んできたもので、成因に氷河は関係しません。デルタは河川の堆積作用、カルスト地形は石灰岩の溶食作用によるものです。
問7	答え 1 低緯度から流れてくる北大西洋海流という暖流の上を、偏西風が吹いて暖かい空気を運んでいる。	ヨーロッパの気候を決定づける要因は、暖流である北大西洋海流と、一年中西から吹く偏西風の組み合わせです。暖流によって温められた海上の湿った空気が、偏西風によって大陸側へと運び込まれるため、緯度のわりに冬の気温が下がりにくいという特徴があります。これに対し、季節風は大陸と海洋の温度差で向きが変わる風であり、貿易風は低緯度地域で吹く風であるため、この地域の気候説明としては不適切です。
問8	答え 1 低緯度からの暖流である北大西洋海流の影響を偏西風が内陸へ運ぶため、冬の気温は札幌やニューヨークより高くなる。	ロンドンの冬の気温が5.7度から8.0度と、札幌（氷点下）やニューヨーク（1.0度～5.9度）よりも高いのは、暖流と偏西風の組み合わせによるものです。北大西洋海流は低緯度から北上してくる暖流であり、その熱を偏西風がロンドンなどの西欧諸国へ送り届ける役割を果たしています。